

年運から見て

2012年、転機の年であるため、腹を抱えて先へ進まなければならないことも多いでしょう。一方では、予想外のことが突発的に起こるのが特徴的な年でもあります。腹を抱えた拳句に予定が大変更になったり、自分のことで手一杯なのに人のことまで面倒見る羽目になったり、テンションの維持に苦労が耐えなさそう。とにかく、急がないこと、焦らないことが最大の課題です。

・運気の流れ(2012)

総合 恋愛 仕事 ※恋愛は人間関係全体も含まれます				
7月	49	53	62	徹底的に仕事が忙しくなる時期です。プライベートの充実感なんてどこ吹く風、ひたすら、こなすことやるべきことの嵐が吹き荒れます。しかも、このタイミングで過去にやらかしたミスや、以前にトラブルがあった人間関係などで問題が再燃する恐れがあり、時間が経っているだけに修復にも手間がかかって、ああ、もう、だー！！と言う煮詰まり感が満載になりがち。ただし、真摯に向き合ってきたりと処理すればするだけ、実力も評価も上がっていく時期なので、ここはイラ立ちや怒りをグッとこらえてオトナになるべき時期です。その分、息抜きを忘れずに。
8月	45	45	45	先月のしっちゃんかめっちゃんかを無事通り抜けたご褒美的に、人間としてのレベルアップが訪れる時期なのですが、何故かテンションがダダ下がりしやすく、なんで俺がこんな目という被害者意識とツラさが先に立つ月です。溜息、嫉妬、なんだかなあというボヤキ。悪いとは言いませんが、どうせならそれを冷静な視点に変えて、何が悪かったのか、これからどうしたいのかを考えながら、自分を存分にいたわり可愛がる月にしましょう。下旬になると、徐々に成果が見えて来ます。動かなくなったらすぐ動けるよう、体力回復と自分メンテに力を入れて。
9月	88	55	99	自分本来の立ち位置に戻れる時です。仕事の運気もグッと上がって、宙ぶらりんだった話も決定事項に変わるなど進展が見られそう。気持ちにも一本芯が戻ってきて、物事が一段落した後は新たなことを始めたり、スキルアップを考えたりできそう。先の見通しが立ちやすい、よい時期ですが、パーティーなどの場では見栄を張りたくなる時なので、そこは要注意。また、これまで隠れていたことが表に出て来る時でもあるので、喧嘩の種になりそうなことがあれば、説明なり弁解なりの準備は必須。のらりくらいでは逃げられないので、信頼を保つ努力を。
10月	79	79	68	自分らしく過ごすことで、運気がアップしていく月です。ところが、何かと興ざめするような言葉を浴びせられたり、テンションの上がらない状況に置かれたりすることが多く、きつければショボンとしがち。今月は、これまでの結果を冷静に分析して、今の自分に不足しているものや欠けている資質をよく吟味し、必要な情報やスキルを手に入れるために努力する、そんな月にするのが一番。かっこよく見せたい、意地を張りたい、樂をしたいと言った、素の自分を歪めるような行動はNG。プライベートでも、素をさらして楽しめる仲間と過ごし、心の充実をはかって。
11月	90	90	90	10月下旬からはバタバタと忙しくなります。あちらこちらで物事が動き始め、そのための下準備を余念なく行うことが大切。体が二つ欲しい！と思える状態で人からの頼まれごとまで引き受ければ、当然のごとくミスも増えるので要注意。やらざるを得ないことが多くペース配分が難しいですが、突発的なことに備えて、常に余裕を持つように気をつけておきましょう。やり遂げた暁には、いつも以上の充実感や忍耐力など、代えがたいものも手に入ります。基本的には損得無視のボランティア気分で尽力を。また、体力が落ちやすい時期なので、無理は続けないで。
12月	75	70	70	目新しいことが増え、引き続き忙しい時期になりますが、テンションも金運も上がって、やる気につながっていきます。プライベートでも、模様替えや旅行にツキがあり、新たな趣味を開拓したり、習い事を始めたり、新しいことに手をつけると吉。ただ、つつい調子にのって悪口や毒舌が口を突いてしまいやすく、気づいたら周囲から冷たい目で見られていたなんてことも。下旬には、突如思い通りに行かない厳しい時期が訪れ、心身共に空回りが増えるので、落ち着いて。勢いだけではない、先を見据えた行動が鍵になります。

・ルーンカードによるアドバイス

予想外のことが起きる時、それは、あなた自身が成長を迎えるべき時です。降って湧いたような出来事によって、新しい世界に踏み出すことができるのであれば、それはあなたにとって必要不可欠な出来事だったということです。突然の落雷に遭ったような気持ちであっても、いずれ心の力が前向きに集約され、勇気を持って新しい一歩を踏み出す時が来るのです。そうルーンカードは告げています。

・現状での総合的な結果

今年後半は7月8月を乗り越えるのが主眼となりそう。これまでの経験を踏まえて、今後自分がどんな方向性で頑張っていくのかを考える時間も、十分に取れるでしょう。「30にして立つ」と言います。勿論20代だって沢山頑張ってきたが、ここからは頑張りも少しづつ変わって来ます。張子の虎が本物の虎に成長していくような、志と実力が釣り合っていくような、素晴らしい時間が待ち構えているのです。そのためにも、変えるべきところはためらうことなく変えながらも、山道を一步一步踏みしめるような着実に前進して行きましょう。より多くの出会いや語り合いを通して、更に心豊かな人生を送れますよう、また、好ましい未来を迎えることができますよう、お祈り申し上げます。